

## 施設評価シート（ごみ処理施設）

（平成22年度事業）

施設名	クリーンセンター備前			問	担当課（室）	環境課	
				合	職・氏名	古松健二	
				先	電話	(0869)64-1821	
所在地	備前市八木山859番地4			所	所属長職・氏名	課長・森本和成	
				このシート作成に要した時間			3.0 時間
建物建設費	2,232,010 千円	財	国県等補助金	221,331 千円	建設年月	10 年 3 月	
		源	市債・一般財源等	2,010,679 千円	耐用年数	20 年	

根拠法令等の有無	●あり ○なし	名 称	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
総合計画上の位置付け	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	基本施策	01	生活しやすいまちづくり
	施 策	14	ごみ処理	事務事業名	02	ごみ処理施設管理事業

対 象	（この施設運営によりサービスを受けるのは誰か？） 一般廃棄物の処理を必要とする市民・市内業者					
目的・意図する成果	（この施設運営によってどのような状態を目指しているのか？） 適正かつ効率的に処理することにより、生活環境の保全につなげる。					
施設内容 規 模 ごみ処理手数料	施設内容		規 模		ごみ処理手数料（直近の改定：平成20年4月）	
	工場棟・管理棟		延床面積	1899.25㎡	市指定ごみ袋 20円/20リットル	
			焼却施設	34t/日(8時間)	30円/30リットル	
				17t/日×2炉	45円/45リットル	
				機械化バッチ焼却炉	直接持込み	
	車庫棟		延床面積	597.25㎡	100円/10kg	
				粗大ごみ（個別収集） 200円～2,000円（品目により料金が異なる）		
管理運営方法	<input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> すべて直営		（一部委託の内容）			

経 費	項 目		平成20年度実績		平成21年度実績		平成22年度実績		単 位
	正規職員	臨時職員	人	千円	人	千円	人	千円	
費	人件費		4.0	26,590	3.8	25,834	3.6	24,746	人/千円
			0.0	0	0.0	0			人/千円
	維持補修費			32,907		53,361		55,371	千円
	物件費			34,380		29,651		34,275	千円
	その他（ ）			207		208			千円
	減価償却費			90,481		90,481		90,481	千円
	合 計		<b>184,565</b>		<b>199,535</b>		<b>204,873</b>	千円	
財 源	ごみ処理手数料			41,728		43,499		52,722	千円
	一般財源			<b>142,837</b>		<b>156,036</b>		<b>152,151</b>	千円
	人口（ 地域 ）		26,802		26,509		26,151	人	
	1人当たりコスト（一般財源）		5,329		5,886		5,818	円	
	受益者負担率		22.6%		21.8%		25.7%	%	

受益者負担は適正か？ 設定受益者負担率 %		
施設の効率性	<input type="radio"/> 適正である <input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある <input type="radio"/> 受益者負担は求められない	<b>判断理由</b> 一般市民の負担については妥当と考えられるが、事業者ごみについては、排出抑制の点からも、見直す余地がある。
	管理運営に係るコストを削減する余地はあるか？	
	<input type="radio"/> 削減の余地はある <input checked="" type="radio"/> 削減の余地はほとんどない	<b>判断理由</b> 光熱水費・燃料費等の管理コストについては、有効な削減に努めているが、焼却炉の改修等維持補修費については、競争入札等の導入により削減に努めるが、削減の余地はほとんどない。

稼働実績	平成22年度 (単位：日，t)						
	種別\月	H17	H18	H19	H20	H21	H22
	焼却日数	258	254	256	266	261	260
	焼却量	7,443	7,406	7,358	7,081	6,893	6,395
	1日当たりの焼却量	28.8	29.2	28.7	26.6	26.4	24.6

平成23年度の状況及び管理運営の改善案	従来のごみ収集体系と新たなごみ分別体系の併用でのごみ処理を行っており、新たなごみ分別区分での実施地区を拡大することで、焼却ごみの減量化を行い施設の延命化を図る。また、焼却灰のセメント原料化への搬出設備の改修工事を予定している。
---------------------	---

施設修繕・大規模改修費用（今後5年間：平成24年度から平成28年度）					
毎年経常的に必要な修繕費	内容	金額（千円）	今後5年間に必要となる大規模改修費	内容	金額（千円）
		焼却炉改修工事費		40,000	

判定	<input type="checkbox"/> 全面委託が可能	判定理由	施設の管理運営を委託にすれば、施設の状況がつかみにくくなり、施設の補修など委託業者の言いなりになる恐れがあり。経費が増大することが予想される。
	<input type="checkbox"/> 事務等一部委託が可能		
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の管理運営形態が望ましい		

総合コメント	<p>備前広域環境施設組合の解散に伴い、単市でごみ処理を行わなければならない。そのためには、現有施設を有効的かつ長期に使用しなければならない。</p> <p>新たなごみ分別によりごみの減量化、資源化を推進しごみの焼却量を減らし施設の延命化を図る必要がある。</p> <p>また、和気北部衛生施設組合の焼却施設閉鎖に伴う日生地域、吉永地域のごみ処理について検討する必要がある。</p>
--------	---